

春 SPRING



星形の城塞一面に咲き誇る、約1600本の桜は見事です。例年4月末～5月上旬が見頃です。

夏 SUMMER



ツツジや郭内の藤棚などが、目を楽ませてください。フジは5月下旬～6月、ツツジは6月～7月上旬が見頃です。

秋 AUTUMN



丸く刈り込まれた底壁のツツジや桜の葉が美しく紅葉します。10月下旬～11月下旬が見頃です。

冬 WINTER



堀の水も凍り全てが白一色に雪化粧されます。例年12月からは、春に向けて桜の枝の剪定作業が行われます。

五稜郭公園

日本初の西洋式城塞 五稜郭跡
国指定特別史跡

GORYOKAKUPARK

ようこそ～幕末を見つめた歴史の舞台へ

戊辰戦争最後の舞台となった星形城塞「五稜郭」。公園として一般開放された1914(大正3)年から植えられたサクラは、北海道に春の訪れを告げるサクラの名所として、花見に集う人々を楽しませています。サクラ以外にもフジやツツジ、堀のスイレンなどの花が楽しめます。秋には紅葉、冬には一面の白銀に堀や石垣の形が浮かびます。四季折々に美しい景色が眺められる五稜郭公園は、市民の憩いの場として、観光名所として一年中賑わっています。



駐車は付近の **P** 有料駐車場をご利用ください

- 所在地 函館市五稜郭町44番地
- 開園時間 郭内 / 4月～10月 AM5:00～PM7:00
11月～3月 AM5:00～PM6:00
郭外 / 常時解放
- 入園料 無料(有料施設あり)
- アクセス 市電「五稜郭公園前」下車、徒歩約15分

お問い合わせ先

(一財)函館市住宅都市施設公社
TEL(0138)～31-5505

※展望台からの写真は全て五稜郭タワーよりご提供いただいたものになります

歴史

城塞のみどころ

稜堡と呼ばれる5つの突角を配し、星形五角形を呈する外観から五稜郭と呼ばれています。元治元年(1864年)に完成した五稜郭は、箱館戦争の後、役所としての機能を失い、明治30年まで明治政府陸軍省の所管となりました。大正3年からは「五稜郭公園」として一般開放され、昭和27年には「五稜郭跡」の名称で特別史跡として国の指定を受け、以後国民的遺産として保護・保存の措置が図られています。



4 空堀 からほり

郭内に水が入っていない堀がいまも残っています。石垣が壊されたときに石が崩れて水を塞がないようにつくられたもの。



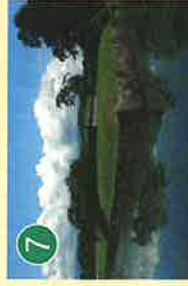
5 長斜堤 ちようしゃいでい

堀の外側に広がる斜面。堀から外へ逃げ出すための土塁。門から出てくる人馬が直接見えないようにするための土塁。



6 石垣 いはかき

石垣の上から二段目の位置にある石を一段飛ばし出すことにより、敵兵が石垣を登るのを防いでいる。



7 半月堡 はんげつほ

城塞から孤立した菱形の土塁。門から出てくる人馬が直接見えないよう内部を守るための工夫。



8 石垣 いはかき



9 石垣 いはかき

五稜郭公園マップ



POINT

郭内の一部の赤松は樹齢約150年の文化財です。

POINT

公園外周路は約1.8kmありウォーキングだと約20~30分で回れますよ!

桜



五稜郭公園といえば「桜」といわれるほど、桜の名所になっています。公園内の桜の総本数は、約1,600本あります。

① 武田斐三郎先生顕彰碑

昭和39(1964)年7月18日築城百年記念に建立されました。武田斐三郎は、五稜郭の築城設計及び監督・箱館奉行支配職務所教授役。

③ 男爵墓記念碑

明治40年頃、川田男爵により輸入された男爵墓は、本道の農業経営とわが国の食料対策の上で大きな功績を講せ、昭和22年に建立されました。

記念碑

② 一万号記念桜樹碑

1万号発行記念に函館毎日新聞社から桜が寄付され、その種樹が1万本となった大正12年に記念として建立されました。